

風しん抗体検査を実施される先生方へ（その1）

平成31年2月1日
厚生労働省

- 厚生労働省では、今年から2022年3月末までの約3年間、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しんの抗体検査を原則無料で提供し（以下、本事業と言います。）、風しんに対する抗体価が十分でない方については、風しんの予防接種を予防接種法上の定期接種として原則無料で実施する方針とし、現在その準備を進めています（※）。
（※）準備が整った自治体から順次開始予定
- 本事業の開始前であっても、自治体によっては、すでに自治体の事業等として、風しんの抗体検査が公費で補助されている場合には、当該補助を活用いただいて構いません。その場合、本事業開始までは、以下のことにご留意いただきつつご対応いただきますよう、お願いいたします。
 - ・ 風しんの抗体検査法は、自治体が定める方法がある場合には、従来通りそれに従ってください。
 - ・ 風しん抗体検査の結果が別紙1の表にある基準に当てはまる場合、予防接種法上の定期接種の対象となる予定です。基準に当てはまった方には、別紙2の内容のお知らせを渡す等により、風しんの予防接種を検討して頂けるよう、御説明ください。
 - ・ また、検査の結果は、今後、抗体検査を受けたことの証明として用いる可能性があるため、別紙3の内容のお知らせを渡す等により、御説明ください。
- 現在、風しんの抗体検査に公費の補助がないか、あっても来院された方が当該補助の対象でない場合、風しんの抗体検査は自費で行って頂くこととなりますので、十分なお説明をお願いします。
- 上記の本事業の対象者が風しんの抗体検査を希望して来院した場合、以下のことにご留意頂きつつご対応頂きますよう、お願いいたします。
 - ・ 風しんの抗体検査は、血球凝集抑制法（HI法）によるものでも、その他（EIA法等）の方法によるものでも構いません。
 - ・ 当該年代の男性の風しん抗体検査を外注する場合、これまでの検査方法と

異なる手法が用いられる可能性があるため、通常の風しん抗体検査と別の検査コードが割り当てられている場合がありますので、外注先からのお知らせ等をご確認ください。

本事業については、今後、詳細が決まり次第、随時「その2」、「その3」と更新してお知らせいたします。

定期接種の対象となる予定の風しん抗体価

測定キット名（製造販売元）	検査方法	抗体価（単位等）
風疹ウイルスHI試薬「生研」 （デンカ生研株式会社）	赤血球凝集抑制法 （HI法）	8倍以下（希釈倍率）
R-HI「生研」 （デンカ生研株式会社）	赤血球凝集抑制法 （HI法）	8倍以下（希釈倍率）
ウイルス抗体EIA「生研」ルベラIgG （デンカ生研株式会社）	酵素免疫法 （EIA法）	6.0未満（EIA価）
エンザイグノスト B 風疹/IgG （シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社）	酵素免疫法 （EIA法）	1.5未満 （国際単位（IU）/ml）
バイダス アッセイキット RUB IgG （シスメックス・ビオメリュー株式会社）	蛍光酵素免疫法 （ELFA法）	2.5未満 （国際単位（IU）/ml）
ランピア ラテックス RUBELLA （極東製薬工業株式会社）	ラテックス免役比濁法 （LTI法）	1.5未満 （国際単位（IU）/ml）
アクセス ルベラ IgG （ベックマン・コールター株式会社）	化学発光酵素免疫法 （CLEIA法）	2.0未満 （国際単位（IU）/ml）
i-アッセイ CL 風疹 IgG （株式会社保健科学西日本）	化学発光酵素免疫法 （CLEIA法）	1.1未満（抗体価）
BioPlex MMRV IgG （バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社）	蛍光免疫測定法 （FIA法）	1.5未満 （抗体価 AI*）
BioPlex ToRC IgG （バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社）	蛍光免疫測定法 （FIA法）	1.5未満 （国際単位（IU）/ml）

* 製造企業が独自に調整した抗体価単位

（今後キットの追加の可能性あり）

**風しんの抗体検査を受けた皆様へ
厚生労働省から大切なお願いです**

今回の風しん抗体検査において、あなたは風しんに対する免疫が十分でない可能性があることが分かりました。

風しんは、妊娠している女性がかかると、生まれてくる赤ちゃんに心臓の疾患や難聴、白内障、精神や身体の発達の遅れ等（先天性風しん症候群）が生じる可能性があります。

また、妊娠している女性以外でも、大人がかかると、発熱や発疹の期間が子供に比べて長く、また関節痛がひどいことが多いとされており、一週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

このため、厚生労働省では、風しんの予防接種を受ける公的な機会がなかった方（※）で、風しんに対する免疫が十分でないと分かった方を対象に、風しんの予防接種を予防接種法に基づく定期接種として、原則無料で受けて頂けるようにすることを予定しています。

※ 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

今後、予防接種法に基づく定期接種として実施する準備が整った自治体から、順次お知らせが届きます。（お住まいの自治体によっては、既に風しんの予防接種に費用助成している場合がありますので、詳細はお住まいの自治体へお問い合わせください。）

その際、定期接種の対象者に該当することの証明書類として活用できますので、今回の検査結果を大切に保管して頂き、機会が来たら、風しんの予防接種を受けることを検討頂くよう、お願いします。

予防接種を受けて、あなたの周りの妊婦さんを、あなたのご家族を、そしてあなた自身を風しんから守ってください。

風しんの抗体検査を受けた皆様へ
厚生労働省から大切なお願いです

今回の風しん抗体検査において、あなたは風しんに対する免疫が十分にあることが分かりました。過去に風しんにかかったか、予防接種を受けた可能性が高いと考えられます。

今後、お住まいの自治体から風しんの抗体検査を受けるよう勧めるお知らせが来る可能性があります。今回の検査結果は、既に抗体検査を受けたことの証明として使えますので、それまで大切に保管してください。

風しんは、妊娠している女性がかかると、生まれてくる赤ちゃんに心臓の疾患や難聴、白内障、精神や身体の発達の遅れ等（先天性風しん症候群）が生じる可能性があります。

また、妊娠している女性以外でも、大人がかかると、発熱や発疹の期間が子供に比べて長く、また関節痛がひどいことが多いとされており、一週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

このため、厚生労働省では、風しんの予防接種を受ける公的な機会がなかった方（※）で、風しんに対する免疫が十分でないと分かった方を対象に、風しんの予防接種を原則無料で受けて頂けるようにすることを予定しています。

※ 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれた男性